

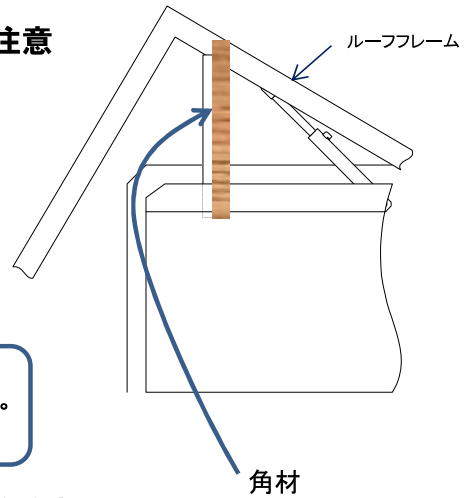
【 ウイングシリンダー交換要領書 】

ウイングボデーの標準的なシリンダー交換要領を示します。(ウイングの機種によっては方法がことなる場合があります。)

作業にあたっては、十分安全に注意して行って下さい。 **⚠ 注意**

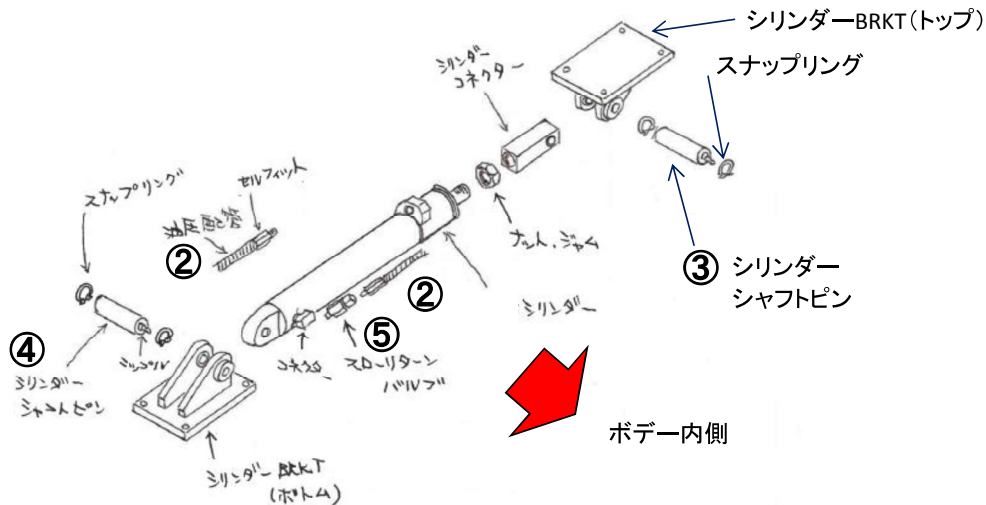
1. シリンダを交換する側のウイングを全開にして下さい。
全開後、右図のように前後骨格に角材を当ててください。

角材：□×約500（長さ）×2本
角材を設置したら、ウイングを下げ、ウイング
ルーフフレームに角材が当たるまで下げて下さい。
シリンダーピンに掛かる負荷が無くなり、
シリンダーが手で動くくらいがベストです。



下げすぎると、ウイングルーフフレームの変形につながります。2名でタイミングよく行ってください。
⚠ 注意

2. ②上げ側（黒）および②下げ側（グレー）の油圧配管を外します。
※ホースを外す際に作動油が噴出しますので、必ず養生を行ってください。
※また、ボデー内のオイル汚損リスクを確実に減らすためには油圧ユニット側の油圧配管を抜き、配管内の油圧を抜いてください。
3. ③ルーフ側シリンダーBRKTのシリンダーシャフトピンより、スナップリングを取り、シャフトピンを引き抜きます。
4. 3.と同様に、シリンダBOX側の④シリンダーシャフトピンを引き抜きます。
5. ⑤シリンダーよりスローリターンバルブを外し、交換するシリンダーに取り付けします。



6. 取り外しと逆の手順にて復元してください。
7. 油圧ユニットの作動油量を確認し、作動油の補充を行ってください。
※⑥によるエア抜き作業後に、作動油が⑦適正範囲内であること。

⑥ 上げ下げの操作を5～6回行い、ウイングを閉めた状態でオイルレベルが適正範囲内であることを確認してください。

